

- 69) 津田 博, 道又敏彦, 種部恭子, 斎藤 滋: 脱落膜にはTh2細胞, Tc2細胞が増加している. 第15回日本生殖免疫学会, 2000, 12, 東京.
- 70) 宮崎聡美, 種部恭子, 道又敏彦, 津田 博, 斎藤 滋: IL-2 receptor γ 鎖ノックアウトマウスにおける生殖性ならびに妊孕性に関する研究. 第15回日本生殖免疫学会, 2000, 12, 東京.
- 71) 郭 卯戌, 李 翔, 佐藤英明, 森 悦子, 斎藤 滋, 森 庸厚: MRL/lprマウスの卵巣におけるFasの異常発現と卵胞閉鎖形成不全. 第15回日本生殖免疫学会, 2000, 12, 東京.
- 72) 副田善勝, 津田 恵, 中島彰俊, 高木紀美代: 高プロラクチン血症を有する不妊症例の検討. 日本産科婦人科学会富山地方部会例会, 2000, 12, 富山.

◆ その他

- 1) 種部恭子: 低用量ピルについて. 平成11年度富山県女性の健康支援セミナー, 2000, 3, 富山.
- 2) 酒井正利: 新生児仮死蘇生術の実際. 富山県産婦人科医会総会, 2000, 4, 富山.
- 3) 斎藤 滋: 女性と喫煙. リカレント教育講座, 2000, 7, 富山.
- 4) 種部恭子, 宮崎聡美, 斎藤 滋: IL-2 receptor γ 鎖ノックアウトマウスにおける生殖性ならびに妊孕性に関する研究. 北陸実験動物研究会, 2000, 7, 富山.
- 5) 斎藤 滋: 出生前診断. 富山県リカレント教育学習コース, 2000, 8, 富山.
- 6) 種部恭子: 低用量ピルをどう教えるか. 第5回避妊指導スキルアップセミナー, 2000, 9, 広島.
- 7) 種部恭子: 日本女性とOC.OC情報センター第3回プレスセミナー, 2000, 10, 東京.
- 8) 種部恭子: 低用量ピルをどう教えるか. 第6回避妊指導スキルアップセミナー, 2000, 10, 名古屋.
- 9) 種部恭子: 産婦人科との上手な付き合い方. 富山市女性交流センター市民企画講座, 2000, 11, 富山.
- 10) 種部恭子: 思春期専門外来の現状と低用量ピルの指導に際しての正しい知識. 平成12年度第4回富山県助産婦研修会, 2000, 11, 富山.

眼 科 学

教授	早 坂 征 次
助教授	門 井 千 春
講師 (前)	松 本 真 義
講師	開 木 康 典
助手	長 柳 秀 一
助手	柳 北 川 清 一
助手	渡 辺 一 彦
助手	岩 佐 芳 夫
助手	手 張 田 学 子
助手 (前)	豊 田 葉 博
助手 (前)	阿 部 知 博
技術専門職員	林 由 美 子

◆ 原 著

- 1) Hayasaka S., Iwasa Y., Nagaki Y., Kadoi C., Matsumoto M., and Hayasaka Y.: Late complications after pterygium excision with high dose mitomycin C instillation. Br. J. Ophthalmol., 84: 1081-1082, 2000.
- 2) Watanabe-Numata K., Hayasaka S., Hayasaka Y., and Kadoi C.: Changes in deviation following correction of hyperopia in children with fully refractive accommodative esotropia. Ophthalmologica, 214: 309-311, 2000.
- 3) Zhang Xue-Yun., Hiraki S., Kadoi C., and Hayasaka S.: Effects of nilvadipine, nifedipine, and verapamil on acute rise of aqueous flare induced by iris photocoagulation or intravenous lipopolysaccharides in pigmented rabbits. Ophthalmic Res., 32: 205-209, 2000.
- 4) Watanabe K., Hayasaka S., Hiraki S., Matsumoto M., Kadoi C., Nagaki Y., and Hayasaka Y.: Effects of topical clonidine on prostaglandin E₂-induced flare elevation in pigmented rabbits. Ophthalmic Res., 32: 210-214, 2000.
- 5) Hayasaka Y., Hayasaka S., Hiraki S., Kadoi C., and Nagaki Y.: Serum methanol levels in subjects with or without optic nerve head disease. Ophthalmic Res., 32: 299-304, 2000.
- 6) Budu, Matsumoto M., Hayasaka S., Yamada T., Hayasaka Y.: Rhodopsin gene codon

106 mutation (Gly-to-Arg) in a Japanese family with autosomal dominant retinitis pigmentosa. *Jpn. J. Ophthalmol.*, 44 : 610-614, 2000.

7) 小杉悦代, 林 由美子, 門井千春, 長木康典, 松本真幸, 早坂征次: 富山医薬大病院を初診した眼鏡常用者の所持眼鏡視力と眼鏡重量. *眼臨*, 94 : 20-22, 2000.

8) 住田好美, 柳沢秀一郎, 門井千春, 松本真幸, 長木康典, 早坂征次: 結膜下出血の患者の年齢分布, 原因と発症頻度. *眼紀*, 51 : 703-706, 2000.

◆ 症 例

1) Iwasa Y., Hayasaka S., Nagaki Y., Okada M., and Kitagawa K.: Rapid progression of bilateral cataracts in a patient with atopic dermatitis. *Ann Ophthalmol.*, 32 : 13-14, 2000.

2) Hara Y., Togashi M., Hayasaka S., and Yamada Y.: Bilateral hypopyon iritis in a patient with diabetes mellitus. *Ann Ophthalmol.*, 32 : 28-29, 2000.

3) Kadoi C., Hayasaka S., Kato T., Nagaki Y., Matsumoto M., and Hayasaka Y.: The Cutler-Beard flap technique with use of donor sclera for upper eyelid reconstruction. *Ophthalmologica*, 214 : 140-142, 2000.

4) Hatta M., Hayasaka S., Kato T., and Kadoi C.: Retrobulbar optic neuritis and rhegmatogenous retinal detachment in a 14-year-old girl with retinitis pigmentosa sine pigmento. *Ophthalmologica*, 214 : 153-155, 2000.

5) Shinoda K., Hayasaka S., Nagaki Y., Hayasaka Y., Kadoi C., Kurimoto M., and Okada E.: Melanocytoma of the left optic nerve head and right retrobulbar optic neuropathy compressed by a tuberculum sellae meningioma. *Ophthalmologica*, 214 : 161-163, 2000.

6) Kadoi C., Hayasaka S., Tsukamoto E., Matsumoto M., Hayasaka Y., and Nagaki Y.: Bilateral angle closure glaucoma and visual loss precipitated by antidepressant and anti-anxiety agents in a patient with depression. *Ophthalmologica*, 214 : 360-361, 2000.

7) Hayasaka S., Kitagawa K., Matsumoto M., Kadoi C., and Nagaki Y.: Retinitis pigmentosa in a man's right eye and corneal

opacity, corneo-iridial adhesion and normal retina in the left eye. *Ann Ophthalmol.*, 32 : 185-187, 2000.

8) Hayasaka Y., Hayasaka S., Watanabe K., and Futamura A.: Regression of cytomegalovirus retinitis after decreased doses of immunosuppressive agents in a renal transplant recipient. *Ann Ophthalmol.*, 32 : 325-327, 2000.

9) Nakamura N., Hayasaka S., Nagaki Y., Matsumoto M., Hara Y., and Hayasaka Y.: Bilateral congenital grouped retinal pigment epithelial albinotic nevi. *Ann Ophthalmol.*, 32 : 333-335, 2000.

10) Kato T., Hayasaka S., and Iwasa Y.: Persistent scotomata after improvement of visual acuity in patients with cilioretinal artery occlusion. *Ann Ophthalmol.*, 32 : 336-340, 2000.

11) 門井千春, 池田成子, 長木康典, 松本真幸, 早坂依里子, 早坂征次: Stevens-Johnson症候群の6例. *眼臨*, 94 : 1020-1022, 2000.

12) 遠藤真知, 早坂征次, 松本真幸, 佐藤昭一, 池田成子, 門井千春, 早坂依里子: 43歳男性にみられた網膜細胞腫と思われる病変. *眼紀*, 51 : 648-651, 2000.

13) 矢野宏樹, 松本真幸, 門井千春, 早坂征次, 今村博明, 吉田丈俊: CHARGE associationの2例. *眼臨*, 94 : 1419-1421, 2000.

◆ 総 説

1) 早坂依里子, 早坂征次: インターフェロンおよび抗ウイルス剤. *あたらしい眼科*, 17 : 5-9, 2000.

◆ 学会報告

1) 長木康典, 早坂征次, 門井千春, 松本真幸, 柳沢秀一郎, 山田哲也: 強膜内陷術と硝子体ガス注入術による上方裂孔原性網膜剥離の治療. 第23回日本眼科手術学会総会, 2000. 1, 東京.

2) 佐藤昭一, 早坂征次, 松本真幸, 阿部知博: グルコン酸クロールヘキシジンとポピドンヨードの術前消毒の効果の比較. 第23回日本眼科手術学会総会, 2000. 1, 東京.

3) 住田好美, 柳沢秀一郎, 門井千春, 松本真幸, 長木康典, 早坂征次: 結膜下出血の患者の年齢分布, 原因と発症頻度. 第29回福井眼科集談会, 2000. 2, 福井.

4) 菅原えり子, 阿部知博, 長木康典, 松本真幸, 門井千春, 早坂征次: 第一次硝子体過形成遺残の

- 54歳男性に発症した急性閉塞隅角緑内障. 第29回福井眼科集談会, 2000. 2, 福井.
- 5) 遠藤真知, 早坂征次, 松本真幸, 佐藤昭一, 池田成子, 門井千春, 早坂依里子: 43歳男性にみられた網膜細胞腫と思われる病変. 第29回福井眼科集談会, 2000. 2, 福井.
 - 6) 山田哲也, 早坂征次, 長木康典, 柳沢秀一郎, 松本真幸, 門井千春: 増殖糖尿病網膜症における早期硝子体手術. 第6回富山内眼糖研究会, 2000. 3, 富山.
 - 7) 早坂征次: 薬物による眼障害. 特別講演・第9回島根眼科研究会, 2000. 3, 出雲.
 - 8) 柳沢秀一郎, 早坂征次, 門井千春, 長木康典, 松本真幸, 柳沢多加志: 自然に解離した網膜剥離術後の黄斑前膜の1例. 第305金沢眼科集談会, 2000. 4, 金沢.
 - 9) 岩佐芳夫, 早坂征次, 長木康典, 門井千春, 松本真幸, 早坂依里子: 翼状片手術後のマイトマイシンC点眼による遅発強膜菲薄. 第303回金沢眼科集談会, 2000. 4, 金沢.
 - 10) 北川清隆, 早坂征次, 豊田葉子, 門井千春, 松本真幸, 長木康典: 網膜出血がみられたChild abuseの2例. 第73回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 2000. 4, 富山.
 - 11) 柳沢秀一郎, 早坂征次: 乳頭血管炎と思われた視神経乳頭サルコイドーシスの1例. 第73回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 2000. 4, 富山.
 - 12) 渡辺一彦, 早坂征次, 開 繁義, 松本真幸, 門井千春: 有色家兎眼のリポポリサッカライド惹起前房フレア上昇に対する $\alpha 2$ 刺激薬の効果. 第104回日本眼科学会総会, 2000. 4, 京都.
 - 13) 長木康典, 早坂征次, 門井千春, 松本真幸, 開 繁義: 有色家兎眼での実験的前房内フレア上昇に対する黄岑の抑制効果. 第104回日本眼科学会総会, 2000. 4, 京都.
 - 14) Budu, 松本真幸, 早坂征次, 山田哲也, 早坂依里子: 日本人網膜ジストロフィ患者のロドプシンとペリフェリン/RDS遺伝子異常. 第104回日本眼科学会総会, 2000. 4, 京都.
 - 15) 早坂依里子, 早坂征次, 開 繁義, 門井千春, 松本真幸, 長木康典: 視神経病変と血清メタノールおよび蟻酸値. 第104回日本眼科学会総会, 2000. 4, 京都.
 - 16) 門井千春, 八田充子, 早坂征次, 加藤 剛: 無色素性網膜色素変性の14歳女性にみられた球後視神経炎と網膜剥離. 第25回日本小児眼科学会総会, 2000. 4, 鹿児島.
 - 17) 渡辺一彦, 渡辺このみ, 早坂征次: あさひ総合病院眼科における結膜嚢細菌培養結果とオフロキサシン耐性菌. 第42回富山眼科集談会, 2000. 5, 富山.
 - 18) 池田成子, 斎藤隆生, 石田俊太郎, 早坂征次, 早坂依里子: 血液透析中のみ片眼の高眼圧がみられた一例. 第42回富山眼科集談会, 2000. 5, 富山.
 - 19) 門井千春, 矢野宏樹, 長木康典, 松本真幸, 早坂征次: サイトメガロウイルス網膜炎の2小児例. 第42回富山眼科集談会, 2000. 5, 富山.
 - 20) 長木康典, 早坂征次, 門井千春, 松本真幸, 柳沢秀一郎, 山田哲也: 上方裂孔原性網膜剥離に対する冷凍凝固術, 強膜内陥術, 硝子体内ガス注入による治療と合併症. 第42回富山眼科集談会, 2000. 5, 富山.
 - 21) 長木康典, 早坂征次, 門井千春, 松本真幸: 右眼に黄斑静脈閉塞症, 左眼に網膜出血がみられたツツガ虫病の1例. 第37回日本眼感染症学会, 2000. 7, 金沢.
 - 22) 住田好美, 柳沢秀一郎, 門井千春, 松本真幸, 長木康典, 早坂征次: 結膜下出血の患者の年齢, 原因と頻度. 第38回北日本眼科学会, 2000. 6, 仙台.
 - 23) 篠田和男, 早坂征次, 長木康典, 門井千春, 栗本昌紀, 岡田栄吉: 鞍上部髄膜腫による右圧迫性視神経症と左視神経乳頭黒色細胞腫が見られた一例. 第37回北日本眼科学会, 2000. 6, 仙台.
 - 24) 遠藤真知, 早坂征次, 松本真幸, 佐藤昭一, 池田成子, 門井千春, 早坂依里子: 43歳男性にみられた網膜細胞腫と思われる病変. 第37回北日本眼科学会, 2000. 6, 仙台.
 - 25) 早坂征次: 網膜色素変性症の研究の最近の進歩 JRPS北陸支部設立総会, 第2回医療相談会, 2000. 7, 富山.
 - 26) 北川清隆, 早坂征次, 豊田葉子, 門井千春, 松本真幸, 長木康典: 網膜出血がみられた被虐待児症候群の3例. 第31回福井眼科集談会, 2000. 9, 福井.
 - 27) 柳沢秀一郎, 早坂征次, 八田正幸: 乳頭血管炎と思われた視神経乳頭サルコイドーシスの1例. 第31回福井眼科集談会, 2000. 9, 福井.
 - 28) 北川清隆, 早坂征次, 長木康典, 渡辺一彦: Effects of Tetramethylpyrazine on the Prostaglandin E₂-and EP Agonist-induced Disruption of Blood-aqueous Barrier in Pigmented Rabbits. 第20日本眼薬理学会, 2000. 9, 京都.

- 29) 北川清隆, 早坂征次, 長木康典, 渡辺一彦: Effects of Tetramethylpyrazine on the Prostaglandin E₂-and EP Agonist-induced Disruption of Blood-aqueous Barrier in Pigmented Rabbits. 第4回日台眼科ジョイントミーティング・第10回日韓眼科ジョイントミーティング, 2000. 9, 鳥取.
- 30) 長木康典, 早坂征次, 門井千春, 中村伸男, 早坂依里子: Effects of Scutellariae Radix and Its Component, Baocalin, on the Experimental Elevation of Aqueous Flare in Pigmented Rabbits. 第4回日台眼科ジョイントミーティング・第10回日韓眼科ジョイントミーティング, 2000. 9, 鳥取.
- 31) 阿部知博, 平田秀樹, 早坂征次: 白内障手術中に見られた水晶体前囊のdouble-ring and double-layer signの1例. 第19回金沢医科大学眼科研究会, 2000. 10, 金沢.
- 32) 長木康典, 早坂征次, 門井千春, 中村伸男, 早坂里子: エンドトキシン誘発前房内フレア上昇に対する黄芩とbaicaleinの抑制効果. 第54回日本臨床眼科学会, 2000. 11, 東京.
- 33) 柳沢秀一郎, 早坂征次: 初診時に乳頭血管炎と思われた視神経乳頭サルコイドーシスの1例. 第54回日本臨床眼科学会, 2000. 11, 東京.
- 34) 早坂依里子, 早坂征次, 門井千春, 北川清隆, 櫻井祐子, 越生 晶: 自覚症状がなく視力良好な傍乳頭部網膜・網膜色素上皮過誤腫の1例. 第54回日本臨床眼科学会, 2000. 11, 東京.
- 35) 山田哲也, 早坂征次, 長木康典, 柳沢秀一, 松本真幸, 門井千春: 増殖糖尿病網膜症における早期硝子体手術. 第54回日本臨床眼科学会, 2000. 11, 東京.
- 36) 菅原えり子, 阿部知博, 長木康典, 松本真幸, 門井千春, 早坂征次: 第一次硝子体過形成遺残の54歳男性に発症した急性閉塞隅角緑内障. 第54回日本臨床眼科学会, 2000. 11, 東京.
- 37) 池田成子, 斎藤隆生, 早坂征次, 早坂依里子: 血液透析中におけるのみ片眼の眼圧上昇がみられた1例. 第54回日本臨床眼科学会, 2000. 11, 東京.
- 38) 岩佐芳夫, 早坂征次, 長木康典, 門井千春, 松早坂征次, 開 繁義, 門井千春, 松本真幸, 早坂依里子: 翼状片術後のマイトマイシンC点眼による遅発強膜菲薄. 第54回日本臨床眼科学会, 2000. 11, 東京.
- 39) 阿部知博, 平田秀樹, 早坂征次: 白内障手術中に見られた水晶体前囊のdouble-ring and double-layer signの一例. 第74回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 2000. 11, 富山.
- 40) 門井千春, 長木康典, 早坂征次: 3才児にみられたヘルペス性虹彩毛様体炎の1例. 第74回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 2000. 11, 富山.
- 41) 門井千春, 早坂征次, 長木康典: 3歳男児にみられた前房蓄膿と虹彩萎縮を伴うヘルペス性虹彩炎の1例. 第66回日本中部眼科学会, 2000. 11, 富山.
- 42) 渡辺一彦, 渡辺このみ, 早坂征次: 健常結膜囊の細菌培養からのメシチリン耐性ぶどう球菌とオフロキサシン耐性菌の検出. 第66回日本中部眼科学会, 2000. 11, 富山.
- 43) 北川清隆, 早坂征次, 渡辺一彦, 長木康典: EPアゴニストにより惹起される家兎の血液房水柵破綻とテトラメチルピラジンによる抑制効果. 第43回富山眼科集談会, 2000. 12, 富山.
- 44) 早坂依里子, 早坂征次, 長木康典: メタノール, ホルムアルデヒド, および蟻酸の家兎硝子体注入による眼毒性. 第43回富山眼科集談会, 2000. 12, 富山.
- 45) 中村伸男, 早坂征次, 長木康典, 松本真幸: アレルギー性結膜炎の患者にみられた白内障. 第43回富山眼科集談会, 2000. 12, 富山.
- 46) 池田成子, 早坂征次, 長木康典, 早坂依里子, 門井千春, 松本真幸: 併発白内障における小切開白内障術後の前房内フレア値の上昇に及ぼす漢方薬(葛根湯・柴苓湯)の影響. 第43回富山眼科集談会, 2000. 12, 富山.
- 47) 山田哲也, 早坂征次, 本郷和久, 窪田博道: 高乳酸血症児の眼科的所見. 第43回富山眼科集談会, 2000. 12, 富山.
- 48) Budu, 早坂征次, 松本真幸, 山田哲也, 張 学云, 早坂依里子: 日本人網膜ジストロフィー患者のペリフェリン/RDS遺伝子異常の研究. 第43回富山眼科集談会, 2000. 12, 富山.